

第3単元 分数×整数、分数÷整数、分数×分数(A)

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	20 (各5)	① 式 $\frac{5}{9} \times \frac{4}{7} = \frac{20}{63}$ 答 $\frac{20}{63}m^2$ ② 式 $\frac{3}{7} \times \frac{5}{8} = \frac{15}{56}$ 答 $\frac{15}{56}m^2$	知技 被乗数、乗数が分数の文章題について立式し、問題を解決することができる。	文章から数直線の図をかかせて立式したり、分数の乗法の計算の方法を確認したりする。
②	10 (各5)	① > ② <	知技 積と乗数の大きさの関係を理解している。	積は常に大きくなると思い込んでいる児童も多い。実際に計算させて確認するとよい。
③	10	$4 \times \frac{5}{7} = \frac{4 \times 5}{7} = \frac{20}{7}$	知技 分数の乗法の計算の仕組みを理解している。	分数の乗法の計算のときの分母と分子の関係について、乗法の性質を使ったり、数直線を活用したりして、理解できるようにする。
④	60 (各5)	① $\frac{15}{4} (3\frac{3}{4})$ ② $\frac{1}{8}$ ③ $\frac{21}{40}$ ④ $\frac{8}{15}$ ⑤ $\frac{1}{2}$ ⑥ $\frac{11}{20}$ ⑦ $\frac{3}{14}$ ⑧ $1\frac{3}{7} (\frac{10}{7})$ ⑨ $2\frac{2}{3} (\frac{8}{3})$ ⑩ $\frac{1}{5}$ ⑪ 8 ⑫ $\frac{2}{3}$	知技 分数の乗法の計算ができる。	分数の乗法の計算の仕方を再度確認するとともに、途中で約分できる場合は、約分してから計算するように助言する。

第3単元 分数×整数、分数÷整数、分数×分数(B)

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 3 ② 3 ③ 2 ④ 3 ⑤ 2 ⑥ 3 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ $\frac{8}{15}$	思判表 乗数の分数を整数化して計算する手順を説明している。	乗数の $\frac{2}{3}$ を整数になおすには、何をかければよいかを考えさせた後、かけた数と同じ数でわれば、積は変わらないことに気づかせる。
②	① $\frac{4}{5}$ ② $\frac{2}{3}$ ③ $\frac{8}{15}$ $\frac{4}{5} \times \frac{2}{3} = \frac{8}{15}$	思判表 分数の乗法の数量関係を、数直線の図を使って説明している。	整数の場合などに置き換えて、数直線の図に表示された数量の関係を理解させる。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	8問以上	7～5問	4～0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。